

# 本郷学園

中学校・高等学校  
同窓会会報

(第6号)



高校校章

# 銀友

発行 本郷学園同窓会事務局

東京都豊島区駒込 4-11-1

発行責任者 同窓会会長 里見博康



中学校校章

## 校歌

坪内逍遙 作詞  
信時潔 作曲

一、むかしは植え樹の

名どころ染井

とりわけ紅葉の

錦に知らる

今は学園

ここに開けて

国の柱の

苗木を育つ

あわれら

誇りの本郷学園

二、ああ柱苗木の

青年われら

つとめば未来に

何えせざらむ

さらば固めよ

処世のまとい

心は剛毅に

身は強健に

あわれら

誇りの本郷学園



## 本郷高等学校六十周年

### 記念事業計画指針発表さる

母校、本郷中学校、高等学校の創立六十周年記念行事は、近年検討が重ねられてきましたが、本年九月、その方向が決定され、十月、学校側の予定案が発表されました。主として、学校内部で計画され、同窓会の協力が必要とする内容のものもあるかと存じます。

その全内容を左記に載せさせていただきます。

- 一、記念式典
- 二、六十年史編纂
- 三、記念誌、記念作文、論文
- 四、応援歌募集、歌集
- 五、シンボルマーク募集
- 六、記念講演会
- 七、学園新聞縮刷版

- 一、胸像、善光園整備
- 二、六十周年記念庭園
- 三、卒業記念植樹整備
- 四、防災施設
- 五、生徒指導に関する施策
- 六、教職員に関する施策
- 七、奨学制度、基金の制定

## 母校創立60周年迫る

### 「記念同総会名簿」実現成るか!!

母校本郷中学校が染井の杜に誕生して、六十周年の歳月を迎えようとしています。人間に於ては初めて、再調査が三千七百名、計約一考えれば、還暦である、大きな意味で生れかわるわけであり、第二、を注がなければなりません。その学校の歴史が始まるわけであり、結果、一名でも多くの同窓生の居住が掲載されなければ、名簿の意味が薄くなるからです。

この六十周年に際して、同窓会では、同窓会名簿の作成を十年にわたって実施する方向ですが、その折には、多数の方々に、御協力を、五十五周年の折に、発行の実現をお願ひすることになると思っています。どうか、一名でも多くの方の御協力を御待ち致します。

三、四年前のことですが、その消息が判明致しますように、絶大な御協力を御待ち致します。また、他方で、出版のための費用もつくり出さなければなりません。このように憶ひ出します。今回の名簿の発行計画は、それにも増しの卒業生の方々に、広告の御賛同を困難が予想されます。と申します。御協力を御依頼することになります。その折には、御協力を御依頼することになります。その折には、御協力を御依頼することになります。

す、五十五周年の時点から六十周年の時点までに、卒業生として増加する数が、約千五百名、新制高校の従来(昭和二十三年より

## 文化祭に想う

駒宮一郎 (旧十六回生)

同窓会副会長

九月十八日の文化祭に英語研貿易商として盛大に東南アジアを究班の成田空港における外国人のかけ廻りについて、特に奇貨だアンケート調査を面白く拝見しました。説明役の生徒さんによると、成田空港で入国したばかりの外国人に本郷校生の英語力が充分通じたこと、五年も六年も英語ならっているのだから当然といへばそれなのに、本郷高校の授業のハイグレードに感心すると共に、四十年前の本中の英語教育の充実ぶりを思い返した次第です。当時の担任はリーダーが藤代先生、英作文が田沢ステーション先生、ステーションではなくステーションだと初めの授業でいわれるのでこの名がつかまりました。その他に井上・成沢・鈴木海軍等々思い出多き先生方のお名前を思い出しました。芳賀君(旧)は藤代英語のみで

「名簿作成について 住所・勤務先等をお知らせ下さい」

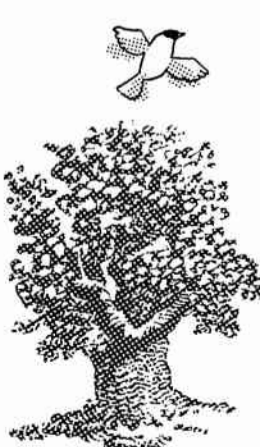
同窓会名簿の作成につきまして、左記宛にお葉書でお知らせは、同窓会と学校当局と協議の上、ただだけです。幸いでございます。調査方法を考えたいと思っております。

その足がかりとしまして、五十五周年記念名簿の再確認と追加調査などを、十月中旬より開始したいと思っております。

この同窓会新聞の配布を一つの機会と致しまして、改めて、同窓会諸君の現況をお知らせいただきたく、御願ひ申し上げます。

従来名簿に記載されている方、その後、転居、転勤などなされた方、また、従来名簿に消息不明の方……等は、恐れ入りますが、消息不明の御友人の近況を御存知の方、御手数ですが、調査係の窓口までお伝え下さい。

〒170 東京都豊島区駒込 四丁目十一ノ一  
本郷高等学校同窓会  
名簿作成調査係



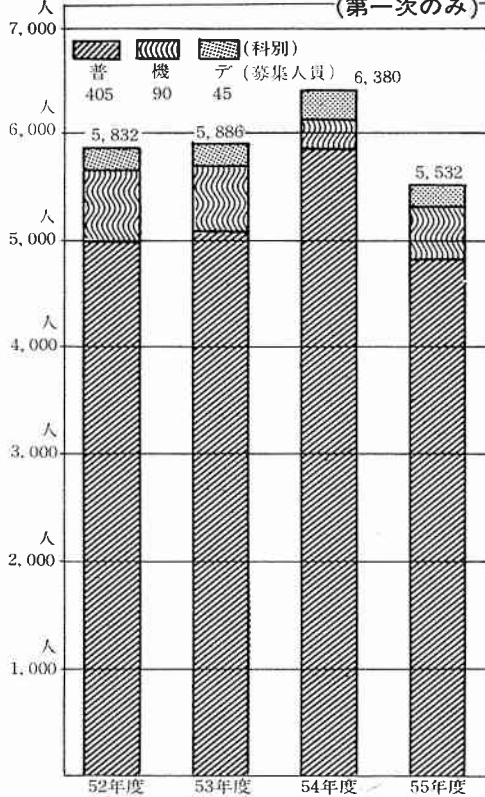


# 旧制第14回生クラス会 55年 総会

下谷神社にて

去る六月六日、われ等旧制十四回生クラス会が常席の下谷神社で開かれた。例年六月第一土曜を定例としていたが、週休五日制の採用で多くの会社が土曜休日とするものが増えつつあるので、今回は前日の金曜日に開いた。結果として第一土曜はクラス会という考えの定着した影響か、二十名出席という一寸物足りない会合になった。しかし定例六時全席という一年間の事業報告(今回は井上先生遺稿刊行に対する協賛、小野が世界音楽祭で雅楽演奏の好評であった)及び二度度開催日に対する提案等を磯川君、雨宮君より発言、全席世話人に於て適切な処を任せられる。次いで佐藤三良君の音頭でビールの乾盃、直ちに懇親会に入る。席上久し振りに自己紹介を指名順に発言、笑いとひやかしのうすまじく宴席は益々佳境に入っていた。卒業以来

## ●最近4カ年間の応募者数



## 母校・入学状況 母校・進学状況

### 近年・卒業生の子弟

#### 緑者の入学激増!!

近年の高校受験の状況につきましては、各種の報道でその激しさを御存知の方がおられると思いますが、母校の現況の一部として、入学試験と、進学の件を別掲の表(一)、表(二)の如くお伝えすること、御参考にお伝え致します。

入学試験につきましては、五十二年度頃より、急激に受験生の増加が目立ち、近年は、十倍以上(普通科)の競争率を競う、入学難校の一つに挙げられるようになりました。

それに伴いまして、従来は極めて少なかった、卒業生の子弟の、入学志望が増加傾向にありまして、親類、緑者の数まで含めると、相当数の受験生が集まるようになってきました。母校の卒業生に連なる生徒達の増加は、まことに喜ばしいことで、母校の隆盛が続く限り、この傾向も上昇するものと思われまふ。その意味でも、学校関係者の努力におかれることな

### ●大学進学状況 (昭和52年度～55年度)

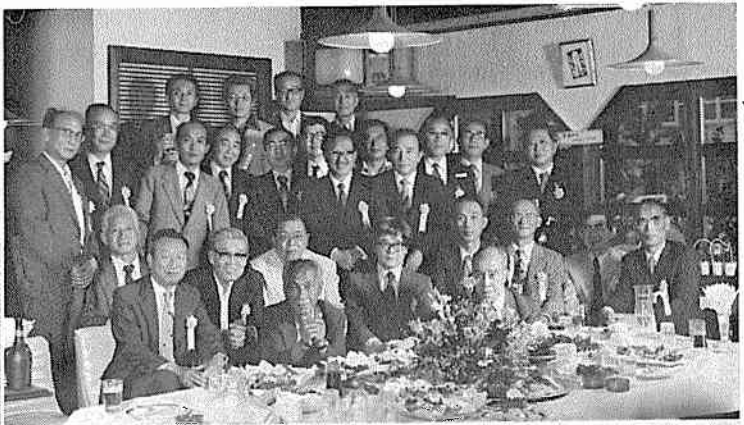
大学名	52-54	55	大学名	52-54	55	大学名	52-54	55	大学名	52-54	55
〈国公立〉			中央大	29	13	同志社大	1	2	東京電機大	8	12
東京芸大	1		青山学院大	22	13	立命館大	1	1	工学院大	16	6
電通大	1		学習院大	0	1	甲南大	1	1	東京工芸大	7	1
東京農工大	1		上智大	3	1	和光大	10	3	千葉工業大	17	2
千葉大	1	1	武蔵大	3	8	大東文化大	27	11	日本工業大	10	4
埼玉大	5	1	成城大	4	1	立正大	25	13	武蔵工業大	2	1
筑波大	1		成蹊大	6	7	大正大	7	1	日本医科大		1
茨城大	1		明治学院大	12	7	明星大	4	5	北里大	1	1
信州大	1		国学院大	28	17	玉川大	10	4	明治薬科大	1	
宮城教育大	1		日本大	142	61	関東学院大	4	2	順天堂大		1
横浜市大	1	1	東洋大	90	33	千葉商大	22	12	東邦大	5	1
高崎経済大	1	2	専修大	39	24	神奈川大	11	3	麻布医科大学	1	1
			東京経済大	14	6	城西大	39	7	東京農業大	2	2
			創価大	7	3	国際商科大	12	8	日本体育大	6	1
			独協大	43	22	国士館大	9	4	多摩美術大	4	
			東海大	49	27	二松学舎大	1	1	武蔵野美大	2	
			駒沢大	55	20	帝京大	7	10	国立音大		1
			明治大	44	17	拓殖大	36	21	その他	79	15
			法政大	69	27	亜細亜大	20	10			
						芝浦工大	6	6			



## 日本郷中学第16回生 同級会 5月24日に集う

駒宮 一郎

戦災や地帯変更等により住所の確認が出来ずいた同級会を十数年ぶりに五月二十四日、本郷三丁目にて開催、住所の明確な方60人に案内した所28人が御出席、更に同窓会長見先生、同副会長植松君も御参加下され、四時から七時の開催予定時間が三時から八時三十分と延長され、尚去りやらぬ盛況となり、主催幹事一同面目をほどこしました。尚現代進学流にいくと、卒業生中東大卒5人、その他国立大学、早大、慶大出身者数知れず、又本中卒後実業に入られた方々も、警視正浅草警察署長を始め殆どが、団体、会社役員等と出世しておられ、本郷学園の後輩諸君の頼りがいある先輩であることをほこれる次第です。



本郷中学第16回卒業生学級会 昭和55年5月24日

毎年、夏の夕べのひととき、目白椿山荘において開催してきました、同窓会懇親会は、本年は諸事情により順延することになりました。その理由の一つには、六十周年の記念行事の基本方針が、母校で決定するまでに、夏期が通りすぎ、それにつれて、「銀友」の発行がおくれたことなどから、改めて、年明けから開催との方向になりました。楽しみにしている諸兄にお詫び申上げます。

クラス会など開催されました回数の方、その当日の模様をお伝え下さいませよう御協力下さい。会報に掲載致します。

## 「兎居穀食」 （本中旧四回生） 菅谷正二氏

### ひたすら写経

「菅 袁山(かん・えんさん) 新宿の都営住宅にひとり住まい。金泥写経と書展」が二十九日から三月四日まで、東京都台東区立浅草公会堂展示ホールで開かれる。この数年、心血をそそいだ般若心経、法華経、地藏経など約三十点の金文字が見る人の心に迫ってくるだろう。

菅さんは本名菅谷(すがや) 正二、六十六才。戦後ずっと写経に打ち込んできたが、こんど突然の胸に個展を開くことにした。

「もし、買上げて下さる方があれば、そのお金で友人の彫刻家佐藤健次郎さんの作品「心の像」を町のあちこちに建設してもらいたいと思ひまして」

「ただただ写経をしていれば、心安らかなのです。何百回、何千回うつしてもあきないのが写経です。人前に出たり、個展を開いたりなど思ひもよらなかったのですが、佐藤さんの像はまさに、やさしい「心の像」です。一人でも多くの人にふれてもらいたい。友人の会社から入る毎月数万円の嘱託料が収入のすべて、東京・秘められている。

「ただただ写経をしていれば、いまの世の中にあつては、これもひとつの優雅といえるかもしれな

い。三年前、「延命十句観音経」千枚無料配布のころをさして、紙を仕入れ、短冊を作り、金を文字を一字一字書いていって、一日一枚のペースで、昨秋成就した。こんどの個展にはその喜びもあわせて写経ひとすじ。情報過多のさらい、モノだ、カネだ、の多い世の中にあつては、これもひとつの優雅といえるかもしれな

い。三年前、「延命十句観音経」千枚無料配布のころをさして、紙を仕入れ、短冊を作り、金を文字を一字一字書いていって、一日一枚のペースで、昨秋成就した。こんどの個展にはその喜びもあわせて写経ひとすじ。情報過多のさらい、モノだ、カネだ、の多い世の中にあつては、これもひとつの優雅といえるかもしれな



## 陸上部歴史的快挙

### 「全国総合体育大会・同点優勝 優勝種目数で準優勝となる」

昭和五十五年全国総体は四国松山で行われました。本校陸上部はこの大会において大活躍、五千メートルにおいて高橋雅哉君が、東京の選手として初めて、全国優勝をあげたのを筆頭に、四百メートル横山格郎君が第四位、千六百メートルで第三位とめざましい活躍を示して最終日は、大阪清風高校を全国優勝をかけた熱戦を展開した。結局総得点十九点、清風も十九点となり、優勝種目数が本郷一、清風二という結果で、本校は無念全国総合第二位となる。この大記録は本校の歴史的快挙といえる。その後、高橋君は日本代表として、中国陸上競技大会に遠征、横山君は国陸上競技大会に遠征、横山君は国陸上競技大会の国際陸上競技大会に日本代表として参加、高校選手として、抜群の活躍をしました。

### あとがき

藤田観光常務取締役・椿山荘総支配人、公平武氏は、本年、栄転をされまして、株式会社仙石忠比寿ビルディング取締役社長・西伊豆観光株式会社取締役社長に就任をされました。御祝いを申しあげますとともに、毎年同窓会総会会場の設営につきまして、御尽力をいただきましたことを厚く御礼申上げます。